



PRESS RELEASE

2024 年 10 月 21 日

株式会社オギノ

オギノ、ペットボトルキャップをマイカゴ(バスケット)にリサイクル

駿台甲府小学校と協働し、ペットボトルキャップの資源循環を促進

株式会社オギノ(本社:山梨県甲府市、代表取締役社長:荻野 寛二、以下「オギノ」)は、駿台甲府小学校(山梨県甲府市、校長:小西静穂、以下「駿台甲府小」)、安藤紙業株式会社(本社:静岡県静岡市、代表取締役:安藤 康将、以下「安藤紙業」)、進栄化成株式会社(本社:東京都足立区、代表取締役:進藤 浩、以下「進栄化成」)、株式会社スーパーメイト(本社:岐阜県笠松町、代表取締役:山下 智則、以下「スーパーメイト」)と協働し、オギノの店頭リサイクルステーションにて回収したペットボトルキャップを新たにマイカゴ(バスケット)にリサイクルする取り組みをおこないます。

オギノは、山梨県、長野県、静岡県に食品、住居関連品、衣料品を販売するスーパーマーケット、衣料専門店を合わせて全 47 店舗展開しています。オギノは、循環型社会の構築を目指し、SDGs の考え方を取り入れ CSR 活動に取り組んでいます。その一つとして、SDGs が掲げる目標 12「つくる責任つかう責任」、目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」などを意識し、食品トレーや牛乳パック、ペットボトル、缶、古紙の店頭リサイクルに注力しています。2019 年以降は、古着や布団、段ボールの回収も行っています。

オギノの店頭リサイクルは約 20 年前から実施しております。これまでに回収したペットボトルキャップはプラスチック製品の原料として再資源化されてきました。今回の取り組みで、お客様のご協力により集められたペットボトルキャップの約 5 割がマイカゴ(バスケット)にリサイクルされます。ペットボトルキャップ・マイカゴ(バスケット)は、プラスチック原料の 30%にペットボトルキャップを使用しており、これはキャップ 97 個分に相当します。キャップを再利用することで CO₂ 排出削減につながり環境に配慮した取り組みです。オギノのマイカゴ(バスケット)はオギノ各店舗のサービスカウンターで、オギノポイント券 1 枚または 325 円にて交換できます。ペットボトルキャップ・マイカゴ(バスケット)は、2024 年 10 月下旬頃より取り扱う予定ですが、従来品の在庫状況により各店舗の取り扱い開始日は変わります。

駿台甲府小では、ボランティア委員会が中心となり、ペットボトルキャップの回収に取り組んでいます。この度、当社のリサイクル活動にご賛同いただき、ボランティア委員会の児童の皆様が、当社上今井店にペットボトルキャップを持ち込んで下さいました。

安藤紙業は、静岡県静岡市に本社をおく産業廃棄物・一般廃棄物処分業者です。創業以来、製紙原料を取り扱い、新聞・雑誌・段ボール等、古紙リサイクル事業を営んでまいりました。近年は、衣類・プラスチック類・金属類など、資源循環型社会への対応として多種多様な回収・処理を行っています。現在は段ボール・ペットボトル・ペットボトルキャップ・牛乳パック・発泡スチロール・食品トレー・古着・布団などの資源循環を協働して取り組んでいます。

進栄化成は、東京都足立区に本社をおくプラスチック再生原料製造販売業者です。お客様がスーパーマーケットなどに設置された回収ボックスにお持ちいただいたペットボトルキャップを回収し、買物カゴやポリ袋・再生コンテナなどの製造メーカーに販売しています。

スーパーメイトは、岐阜県笠松町に本社をおく店舗備品製造メーカーです。買物カゴやショッピングカート・台車などの製造販売を行っており、SDGs の取り組みの一環として、ペットボトルキャップを再利用した買物カゴの販売に取り組んでいます。

オギノは、「食・住・衣を通じて、変化するお客様の日常生活を絶え間なく支え、創造し、豊かにする」を企業使命とし、今後も地域社会を支える小売業として、お客様やお取引先様と一体となって環境に配慮した活動を推進してまいります。

■ 画像

《オギノ マイカゴ(バスケット)》



《駿台甲府小 PET キャップをオギノに持ち込み》



《安藤紙業 ペットボトルキャップの回収》



《進栄化成 キャップのリサイクル》



以上